

平成25年度

湯沢砂防だより

No.42

平成25年11月6日

国土交通省 湯沢砂防事務所

湯沢砂防事務所 建設労働災害防止大会を開催し、
工事事故「0(ゼロ)」の決意を新たにしました。



小出労働基準監督署高橋署長
よりご挨拶と講話を頂戴しました。



南魚沼警察署吉田交通課長
より講話を頂戴しました。



安全スローガンを読み上げる
沓掛さん((株)曙建設)



安全宣言を読み上げる
渡辺さん((株)森下組)

湯沢砂防事務所が発注した工事等での事故防止のため、「湯沢砂防事務所工事安全対策協議会」を組織し、湯沢砂防事務所と工事の施工者等が一体となって様々な活動をしています。

その一環として、10月31日(木)午後、湯沢カルチャーセンターにおいて、湯沢砂防事務所職員と工事の現場責任者等の関係者約120名が一堂に会し、建設労働災害防止大会を開催しました。

大会では、小出労働基準監督署長、南魚沼警察署交通課長より講話を頂戴するとともに、安全スローガン発表、安全宣言を行い、「事故0(ゼロ)」に向け決意を新たにしました。

安全スローガン

最優秀賞

危ないと思
いづいた人が責任者
止めの勇氣に
事故は無し！

株式会社 曙建設

志賀 隆之

（西願寺川上流砂防堰堤工事）

優秀賞

危険だと言える勇気が事故防ぐ

新潟セルテック建設(株)

(大倉砂防堰堤工事)

小田島 指男

言つたはず、聞いたはずでは間違える

確認会話で安全作業

上村建設工業(株)

(島田 和弘)

(石黒川第2号砂防堰堤工事)

安 全 宣 言

湯沢砂防事務所工事安全対策協議会及び各会員は、安全パトロール、安全講習会や安全訓練を実施すると共に、安全全・施工研究発表会等による安全対策技術の向上を図り、建設労働災害や公衆災害の撲滅に関係者が一丸となつて取り組んでまいりました。

平成二十二年七月の「新潟・福島豪雨」では、中越地方を中心に記録的な豪雨となり、南魚沼市土沢・小川地区の土石流を始め登川など信濃川水系の各支川等で二百箇所以上の土砂災害が発生しました。この災害では、四人の尊い命が奪われ、多くの住家が床上・床下浸水等の被害を受けました。

また、平成二十五年度においても、融雪期に発生した大白川地区の地すべりや台風十八号による豪雨等により管内全域に渡り土砂災害が頻発しています。

国・自治体や建設会社等は、被災された方々の思いを大切にしながら、住民の皆さんが一日も早くこれまでの生活を取り戻し、安全・安心な生活を送ることができるように、平成二十四年度補正予算による工事も含め、例年以上の工事を施工しています。これらの工事には、危険性が高い災害現場の工事も含まれ、各工事現場の安全管理がより一層重要となっています。

加えて、私たちが働く砂防工事の現場等は、地形や天候などの自然条件が特に厳しく、土石流災害や法面崩壊の危険性も有しております、わずかな気の緩みも許されない状況にあります。

当協議会は、労働災害等が無い安全で快適な現場環境を作り出すため、「平成二十五年度における建設工事事故防止のための重点対策」を実施し、工事関係者全員が笑顔で竣工の日を迎えるよう、一丸となつて建設現場の労働災害防止等に取り組むことをここに宣言します。

平成二十五年十月三十一日

湯沢砂防事務所
平成二十五年度建設労働災害防止大会